



ひるこう

タイムズ



第211号 R3.6.25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 情報・広報室

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者
(取材・撮影・記事執筆)

蒜山ABC部(文化部)

2年生:T.R・M.K

3年生:M.M・K.H・H.A

※ ●の記事を生徒が担当

行事予定

6月

30日(水) 性教育講演会

7月

5日(月)～8日(木) 期末考査

8日(木) 授業評価

10日(土) 2・3年進研記述模試

12日(月)～15日(木) 蒜山I

13日(火) スクールソーシャルワーカー来校日

16日(金) 蒜山I・II・III

合同フィールドワーク

19日(月) 終業式

スクールカウンセラー来校日

19日(月)～21日(水) 三者懇談

※新型コロナウイルス感染症の状況により予定が急きょ変更されることがあります。

CLASS

●進路講義

5月6日(木)の「蒜山」の授業で、鳥取大学の森川修准教授にオンラインで進路に向けた講義を行っていただきました。

自分では「できている」と感じていたことも、実際に森川先生のご意見をいただくと、実際の志望理由書は穴だらけだったと気づくことができました。

講義の中で、森川先生から「蒜校は少数だからこそきめ細かい指導が受けられるんだよ」というお言葉をいただきました。今まで「当たり前」になりかけていたことを再認識したとともに、これからは蒜山校地の強みを活かして、全国の高校生三十万人と戦っていくための準備を重ねていきたいです。



EVENT

●球技大会

5月14日(金)に春季球技大会がありました。とても良い天気の中で晴れとした気分です。

今回は学年混合でソフトボールをしました。4チームに分かれて、あまり話をしながら楽しく取り組みました。チームでの練習はできない中、本番では声掛けをして各チーム優勝を狙っていました。学年混合で練習なので本番でしたが、仲良くできたと思います。順位は、第一位「二人はプリキュア!キョん♡」、第二位「ラーメン好きだよしるちゃん」、第三位「2位ねらいます。」という結果でした。



EVENT

●生徒総会

5月19日(水)に定期生徒総会が開かれました。今回の生徒総会は緊急事態宣言下ということで、前例のないオンライン(リモート)での実施だったので緊張する人が多かったと思います。

議題は「令和2年度生徒会活動報告及び令和3年度生徒会活動計画」、「学校に対する要望」、「令和3年度各種委員会活動計画」です。学校に対する要望には「三座祭等の学校行事期間の体操服下校を許可してほしい」などが挙げられました。実現することを視野に入れ、学校側と話し合うことになりました。



●新任者インタビュー

五月号・六月号の二号に渡って連載する、新任の先生方に対する生徒インタビュー「蒜×談」。
 今月は、井上博先生と、竹村美輪先生です。

美甘：蒜校って最初はどんな印象でしたか？

井上：山に囲まれて空気が綺麗で、のどかなところだなと思いました。生徒数も少ないしね。

やっぱり人数が少ないと授業などやりやすいんですかね？

いやまあ人数が少ないのもあるけど、やっぱり生徒もいいよね。人数が少ないからこそそのコミュニケーションもあるしね。

生徒に向けてコロナ禍でのメッセージみたいなものありますか？

—コロナ対策をした上でちゃんと生活していかなくちゃいけない。やっぱりそこをいい加減にしてるとダメだと思う。

でもやっぱり人との関わり方の経験は積んでほしいですか？

—好むと好まざるとに関わらず、アルバイトしてる以上は県外の人たちとの関わり方というのは出てくるから、コロナ対策をした上で色々な人との関わりを大切にしてほしいね。で、家から出ないっていうのはダメだね。

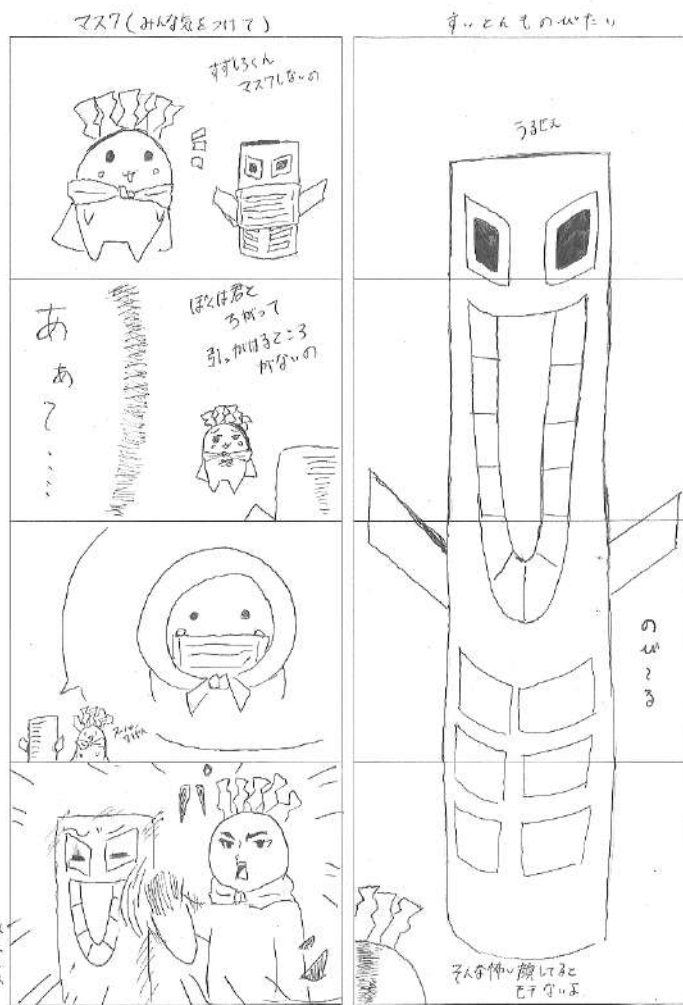
まあやっぱり外に出て…

—まあ積極的に出るとは言わないけど、蒜校生はアルバイトと学校が一緒にある生活が当たり前になってきているので、だからこそ感染対策はしっかり。

なるほど。ありがとうございます。



すずしろくん日和



月交代で担当する「すずしろくん日和」、今月の作者は3年生の美甘里奈さんだよ！



美甘：早速なんですけど、蒜校ってどんな印象でしたか？
 竹村：私は海の近くで育ってきたので山が近くにあるのが印象的で、自然いっぱいだなって(笑) 少人数っていうのも驚きでした。
 なるほど。じゃあ一ヶ月経ってみてどんな感じですか？
 —一人ひとりと関わるのが嬉しいです！先生方もみなさん喋ってくれるので凄く過ごしやすいな〜って思います。

竹村先生が教壇に立つのってここが初めてなんですよ？やっぱりギャップみたいなものってありましたか？

—本当に一人ひとりとよく関わられるし、私が生徒の時って先生に自分のことを理解してもらってるって感じがなかったけど、ここは一人ひとりを分かった上で関わられるのが嬉しいなって思います。

最後に、コロナ禍で生徒に向けてメッセージをお願いします。

—制限されるけどその中で最大限に楽しみましょう！

